

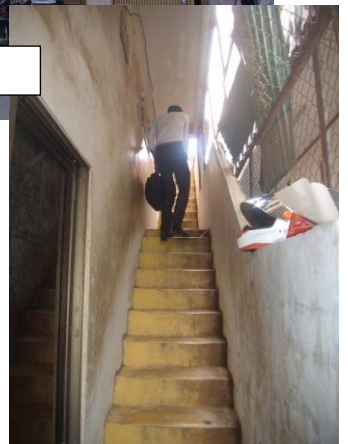
以前にも書きましたが、マイクロファイナンスの小規模ローンで私が最も支援したいのは、女手一つで内職して家族を養う「お母さん」です。わかりやすい例が「ド根性ガエル」の「ひろしの母ちゃん」です。

ソリダさんは4人の子供のお母さんで、ご主人は6年前に事故で亡くなっています。一番上の息子さんはようやく今年から働き出したそうですがお給料も少ないのでまだまだ双子を含む下の3人の子供たちとの生活は大変です。

プノンペン市内、一階が歯医者さんの家の3階を借りて暮らしてます、狭い急な階段を上るのは慣れないとちょっと疲れます。



① この3階で生活



いくつかの取引先や工場から仕事をもらい、子供の面倒を見ながらミシンで縫製の内職をしてます、まさに「ひろしの母ちゃん」です。ミシンは古いものが2台あり、仕事が多い時にはソリダさんの妹や上の子供も手伝ってくれてます。今もっとも多い注文は、お坊さんが托鉢に回るときに肩からかけるオレンジ色のバッグ（巾着）（この）（の）（だ）（と）（い）（う）（こ）（と）（で）（す）（。）。

ミシンが老朽化して修理ばかりかさむので、費用と仕事の効率を考えて、ミシンの買い替えのための資金をライスマから融資させていただきました。

ここには居間、キッチンと、奥にもう一つ部屋があり、奥の部屋に1歳くらいの女の子が寝てたので、「一番下のお子さん？」と聞いてしまい『あ、しまった！ご主人6年前に亡くなってたんだっけ！』ちょっと焦りましたが、彼女はにっこり笑って「いえ、長男の娘ですよ、かわいいでしょ」ということでした。

若い可愛いおばあちゃんでもあったんですね。

家族みんなで協力して良い子供たちや孫たちに囲まれて幸せな生活ができるといいですね。



② お坊さんのバッグ生地



2017年5月18日

磯部正広